

ひふみ INW

ひふみクロスオーバー **pro**

追加型投信／内外／株式



● お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

岡三証券

商号：岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

● 設定・運用は



● RHEOS CAPITAL WORKS

商号：レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

商品サイト

商品概要などファンド情報をご確認いただけます。



※これより先はLINEのサイトになります



※これより先はレオス・キャピタルワークスのWebサイトになります

ひふみLINE 公式アカウント

月次レポートなど、ひふみの最新情報を配信しています。

ひふみクロスオーバーproをお申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

革新的なアイデアで新規事業に取り組むスタートアップ企業への注目が加速

日本経済の再興の牽引役としてスタートアップ企業が今注目されています。政府は、2022年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を発表し、スタートアップ企業への投資額を5年で10倍にすることや、ユニコーン企業*を100社創出することを目指しています。達成に向けた必要な取り組みとして、スタートアップ企業への資金供給の強化に注目が集まっています。

* 企業価値が10億ドル以上の未上場企業

■スタートアップ育成5か年計画の主な概要



スタートアップへの
投資額を5年で10倍に



スタートアップを10万社、
ユニコーン企業を100社創出

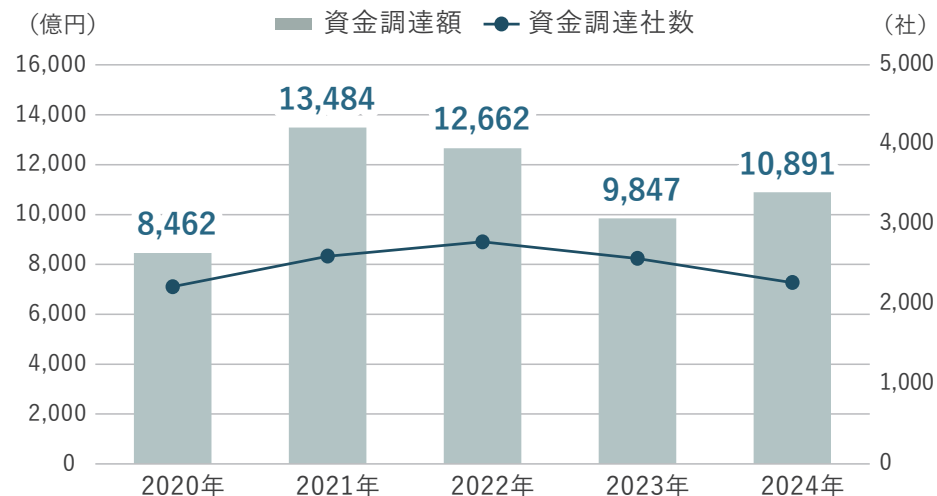


日本をアジア最大の
スタートアップの中核に

出所：経済産業省ウェブサイトの情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成
※上図は施策の一部であり、すべてを網羅したものではありません。

スタートアップ企業の資金調達金額はコロナ禍を経て減少しましたが、足元回復し安定傾向にあります。2024年に資金調達した企業は減少傾向にあるものの、資金調達額は前年と比較して安定して推移しています。今後はより選別してスタートアップ企業へ投資する流れになることが想定されます。

■スタートアップ企業の資金調達額と資金調達社数の推移



出所：START UP DB「2024年国内スタートアップ投資動向レポート」掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成

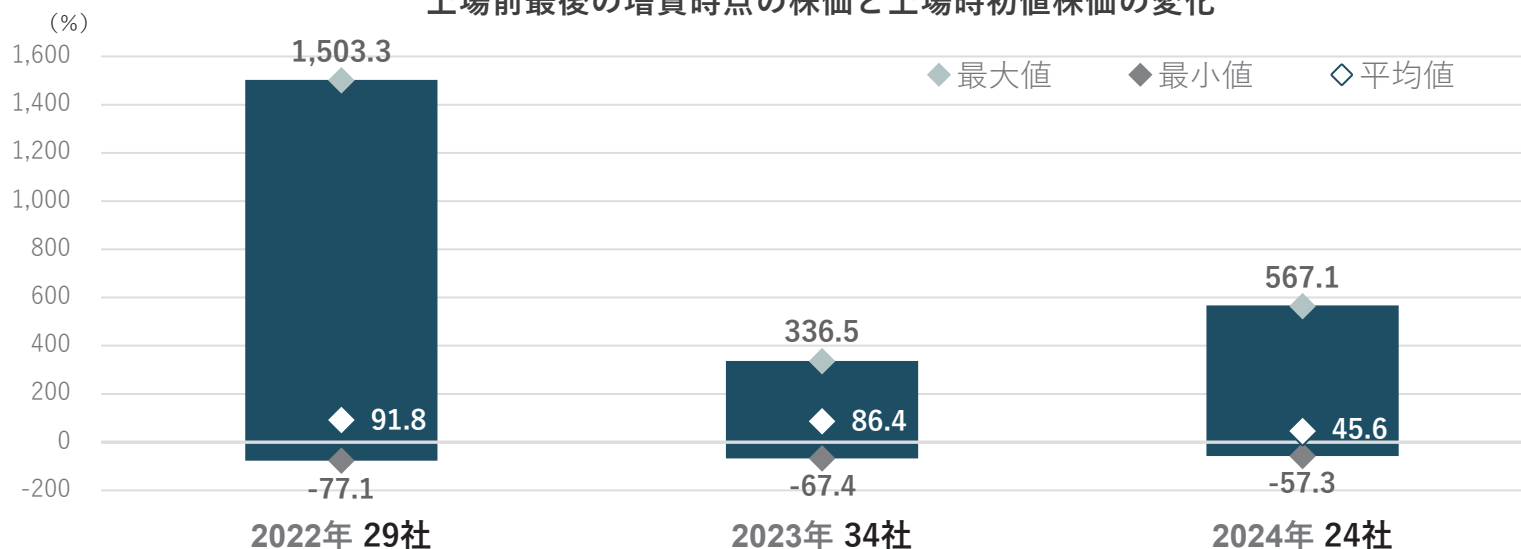
※2025年1月15日時点※投資実行日不詳の場合は、発表日時に基づく※一部、融資や社債での調達、関連会社からの調達を含む※今後、各社の登記簿情報の更新にあわせ、合計資金調達金額・資金調達社数が増加する可能性がある。

大きな成長の可能性を秘めている未上場株式

スタートアップ企業が新規上場(IPO)をした場合、上場時に株価は大きく上昇する傾向にあります。一方で、上場前の増資時点での評価額より低い評価額で新規上場(IPO)を迎える企業もあることから、銘柄の選定がカギとなると考えられます。

■ 年次別新規上場（IPO）時の騰落率（2022年～2024年）

上場前最後の増資時点の株価と上場時初値株価の変化



上場時初値株価が平均91.8%上昇しました。
最も上昇したのはANYCOLORで1,503.3%の上昇、最も下落したのはELEMENTSで77.1%の下落でした。

上場時初値株価が平均86.4%上昇しました。
最も上昇したのはGENDAで336.5%の上昇、最も下落したのはカスターで67.4%の下落でした。

上場時初値株価が平均45.6%上昇しました。
最も上昇したのはタイミーで567.1%の上昇、最も下落したのはMFSで57.3%の下落でした。

※騰落率は、各社の新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）で開示が確認できた上場前最後の増資時点（設立出資や短期間で消却されたものや新株予約権行使に伴うものを除く）の株価と上場時初値株価から算出。株式分割/株式併合、優先株式に対する普通株式の交付数を考慮しています。

※各年にTOKYO PRO Marketを除く東京証券取引所のいずれかの市場に上場し、新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の第二部【企業情報】のうち第4【提出会社の状況】および第四部【株式公開情報】で上場前に増資を行なったことが確認できた企業のうち、上場前最後の増資時点（設立出資や短期間で消却されたものや新株予約権行使に伴うものを除く）の時価総額が概ね50億円以上の企業を対象として集計。なお、上場前最後の増資時点の時価総額は同時点の株価に上場時の株数を乗じて簡易的に見積もったものであり、正確な株数を反映していません。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドへの組入などを必ずしも約束するものではありません。

出所：Bloombergおよび各社の新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

日本の未来に貢献する企業を皆様と共に応援

ひふみクロスオーバーproには大きな社会的意義があります。
実力のある素晴らしい日本の企業に上場前から投資することで、
受益者の皆様と一緒によりよい未来をつくることに貢献できるからです。
これまで三十余年、運用人生をあゆんできた私の集大成として、
未上場・上場の境界を越えて投資の魅力と輝かしいリターンを
皆様へお届けできるよう、全力を尽くします。

レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役社長
ひふみクロスオーバー pro ファンドマネージャー

藤野 英人



ひふみクロスオーバーproとは？

クロスオーバー

特定の分野の境界を越えて、異なる分野と組みあわせて新しい物事を創り出すことをクロスオーバーと言います。
当ファンドでは①未上場の段階から投資を行ない上場後も投資し続ける②ファンド全体を通じて未上場企業と上場企業に投資することで
クロスオーバー投資を実現します。

pro

既存の「ひふみ」シリーズをbasicと位置づけ、徹底的な調査・分析で柔軟に投資対象の選別を行なうアクティブファンドとしての特長を共有しつつ、さらに投資の魅力やワクワクを体感したい方向けのファンドシリーズを「pro」と名付けました。当ファンドでは、未上場企業と上場企業に投資をすることで、お客様にワクワクをお届けします。

	ファンド	こんな方におすすめ
basic	既存の ひふみシリーズ	投資が初めての方 から投資経験者まで 幅広い方に
pro	ひふみクロス オーバーpro	投資に更なる ワクワクを 求める方に

ひふみクロスオーバーpro

3つの特長

特長

1 主に成長が期待できる未上場企業と上場企業に投資します

- 未上場・上場の境界を越えたクロスオーバー投資を行ないます。
- 実質的に未上場株式等を組み入れる「ひふみクロスオーバーマザーファンド」と、主に日本の成長企業に投資を行なう「ひふみ投信マザーファンド」に投資するファミリーファンド形式で運用を行ないます。未上場株式への投資は当社の関連会社であるレオス・キャピタルパートナーズが運用する「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて行ないます。

特長

2 足で稼いだ情報で成長企業を発掘します

「定性」「定量」の両面から徹底的な調査・分析を行ない、どのような投資環境でも独自要因で成長を遂げる企業を発掘します。

特長

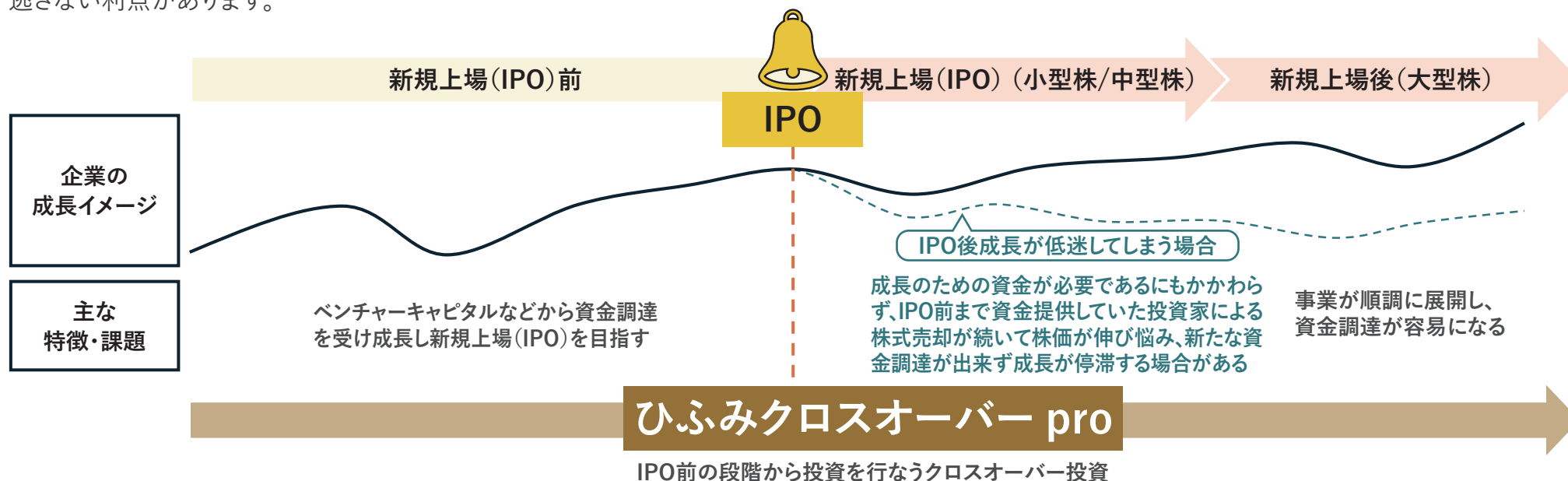
3 顔が見える運用

ファンドマネージャーやアナリストの「顔が見える運用」を取り入れ信頼の向上を目指しています。

特長1

主に成長が期待できる 未上場企業と上場企業に投資します

ひふみクロスオーバーproは新規上場(IPO)を目指し成長が期待される未上場企業と、さらなる成長が見込まれる上場企業に投資します。IPOの前から投資を行ない上場後も持ち続けることでさらに大きなリターンを得ることを目指します。企業側にとっては継続的な資金提供を受けることで成長機会を逃さない利点があります。



■ 未上場株式と上場株式の主な違い

未上場株式	項目	上場株式
企業との相対取引	売買方法	取引所取引
限定された投資家層からの資金調達	資金調達方法	市場など多数
ベンチャーキャピタル ^{*1} 、エンジェル投資家 ^{*2}	投資家層	個人投資家・機関投資家など多岐にわたる

※上図は未上場株式、上場株式の説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。

*1 未上場の新興企業(ベンチャー企業)に出資して株式を取得し、将来的にその企業が株式を上場した際に株式を売却し、大きな値上がり益の獲得を目指す投資会社や投資ファンド

*2 起業して間もない企業に資金を出資する投資家

ひふみクロスオーバーproの仕組み

当ファンドは2つのマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。

未上場株式への投資はひふみスタートアップ投資事業有限責任組合*を通じて投資することにより、売買が難しく換金にかかる時間がかかる未上場株式であっても、ファンドとして毎営業日購入・換金が可能になります(ファンド休業日を除く)。

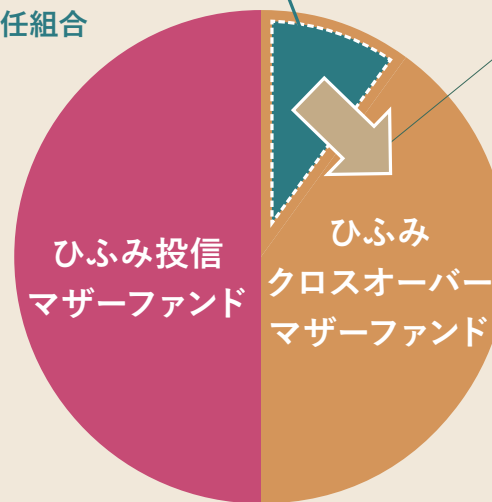
*投資事業有限責任組合:未上場企業が発行する有価証券等への投資を目的としてベンチャーキャピタル等が利用する枠組みです。

ひふみクロスオーバーproの組入資産のイメージ図

■ ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合

レオス・キャピタルパートナーズが運用する「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて未上場株式への投資を行ないます。

ひふみスタートアップ
投資事業有限責任組合



未上場株式が
新規上場(IPO)した場合
「ひふみクロスオーバー
マザーファンド」に組み入れ

■ ひふみ投信マザーファンド

国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。

■ ひふみクロスオーバーマザーファンド

主に未上場株式と組入時点でIPO後5年以内の株式に投資します。

- ・「ひふみクロスオーバーマザーファンド」から「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」に投資を行ない、投資事業有限責任組合への投資を通じて未上場株式への投資を行ないます。
- ・投資事業有限責任組合に組み入れられた未上場株式が上場した場合は、「ひふみクロスオーバーマザーファンド」に時価で組み入れます。

※投資対象ファンドおよび投資事業有限責任組合の組入比率は、市場動向や運用の状況によって変動する場合があります。

※投資する未上場企業が上場した場合、ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合で投資を継続する場合があります。

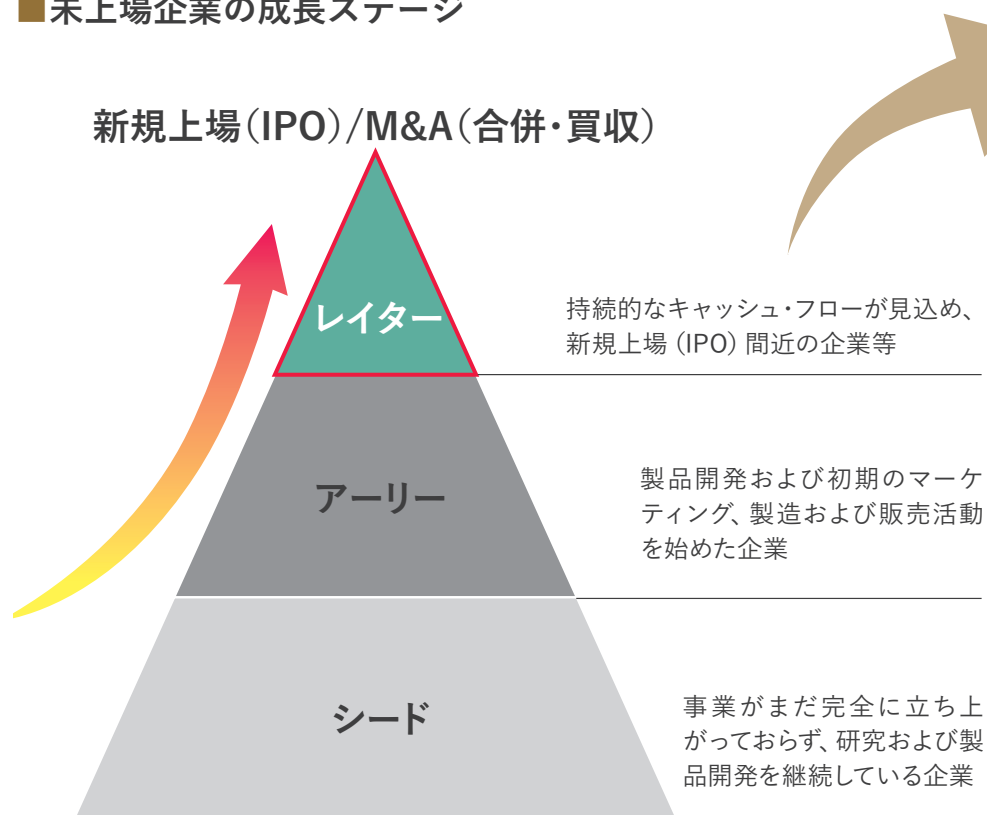
※ファンド全体における未上場株式の組入比率は、投資信託協会の「投資信託等の運用に関する規則」により最大15%と定められています。

※運用状況や当ファンドの設定解約の状況により、実質的に組み入れる未上場株式の比率が純資産総額の15%を超える場合や同一銘柄の組入比率が10%を超える場合は、「ひふみクロスオーバーマザーファンド」が保有する投資事業有限責任組合の持ち分をSBIグループの投資会社または委託会社の関係会社に公正価値で売却することで、実質的な未上場株式への投資割合を低下させます。

ひふみクロスオーバーproの投資対象となる未上場企業

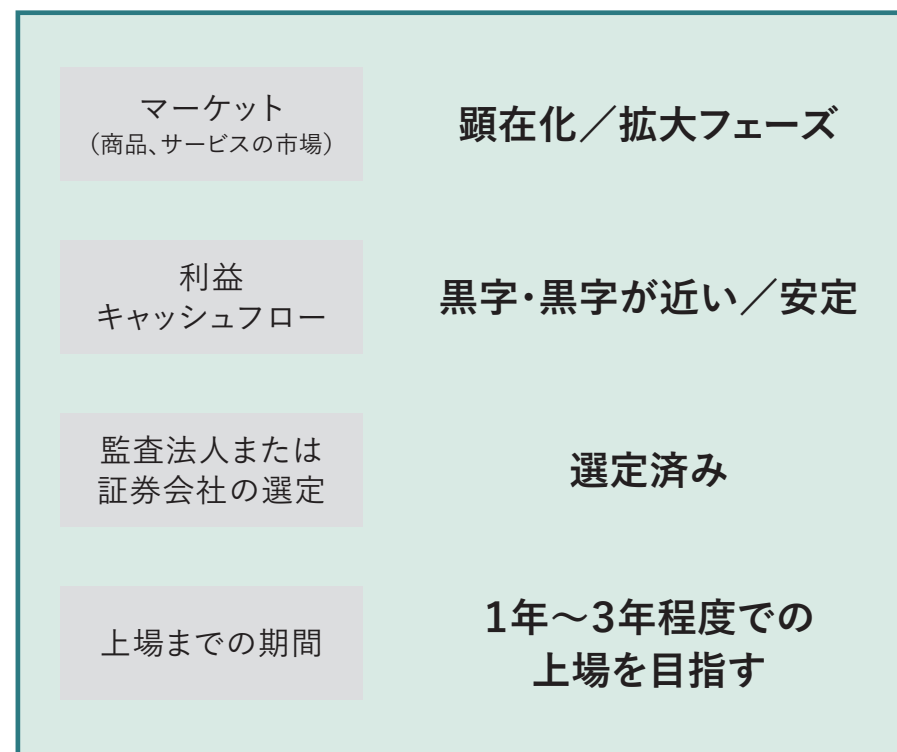
未上場企業には大きく分けてシード、アーリー、レイターと3つの成長ステージがあります。当ファンドは主にレイターステージ企業の中でも上場の可能性が高く、上場後も更に成長が見込める企業に投資します。

■ 未上場企業の成長ステージ



※上記は未上場企業の成長ステージの説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。
※未上場株式等への投資に関するリスクについて詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資対象となる未上場企業



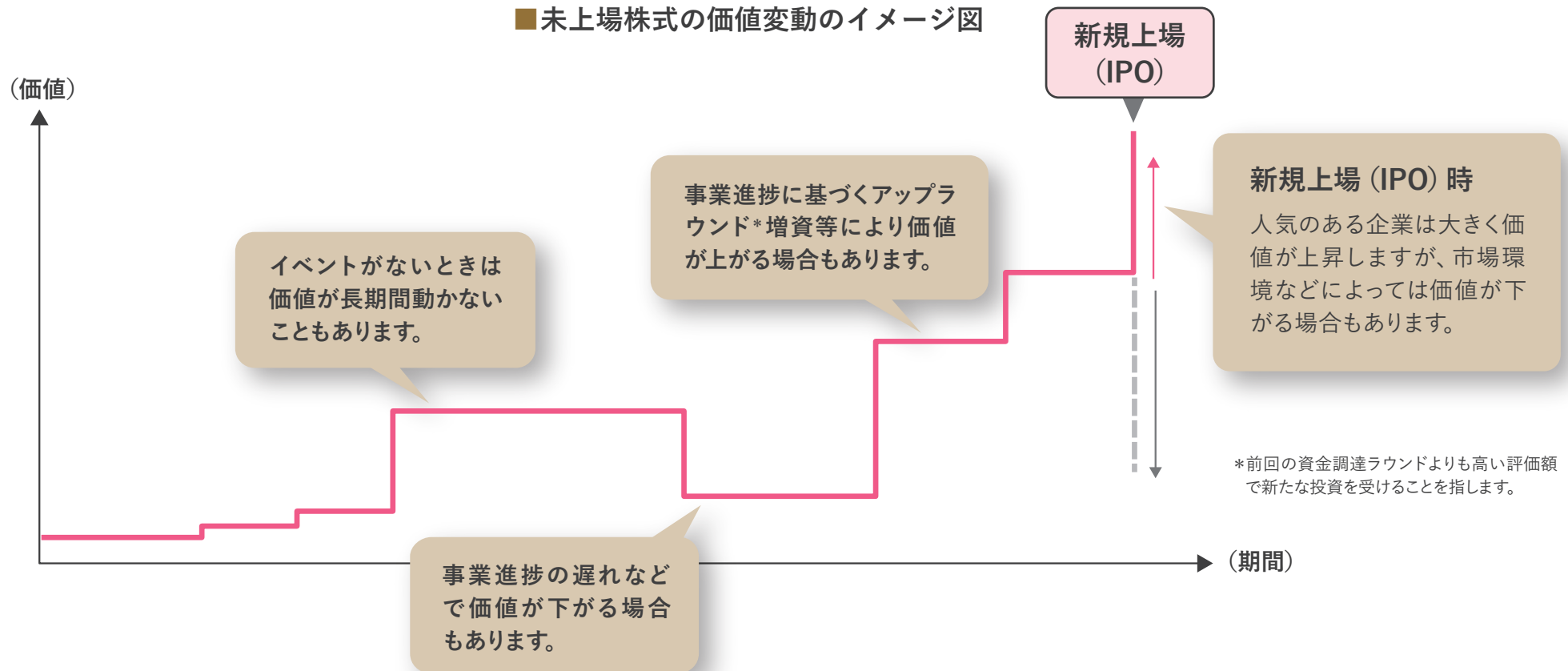
※投資対象は市場動向や運用の状況によって変動する場合があります。

未上場株式の価値推移の特徴

未上場株式は上場株式のように市場で毎日取引されていないことから価値が大きく動くものではありません。一方、イベント(増資、事業提携、業績の大きな変動、市場環境の変化など)が発生するとその価値が大きく変動することがあります。

また、未上場株式は市場で取引されていないため、流動性が乏しく売買に日数を要するなど、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があります。これらの影響を受け損失を被るリスクがあります。

■未上場株式の価値変動のイメージ図



※上記は未上場株式の価格変動の説明の一部であり、必ずしもすべてを網羅し一致するものではありません。
※未上場株式等への投資に関するリスクについて詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

新規上場（IPO）後5年以内に投資した銘柄の投資実績は好調

当社が新規上場（IPO）後5年以内に投資した銘柄全体のパフォーマンスはTOPIX（配当込み）やひふみ投信マザーファンドを上回っています。

■ 当社が新規上場（IPO）後5年以内に投資した銘柄全体の推移



出所: Bloomberg 等掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

※当社が新規上場（IPO）後5年以内に投資した銘柄全体については、2007年5月25日以降に上場した企業の中で、当社が投資時点で上場後5年以内の銘柄群をユニバースとし、当社における実際の売買を反映。2012年5月25日～2025年2月28日までの各社の時価総額に対して時価総額加重平均で指数化（2012年5月25日＝10,000）。新規上場銘柄に関しては初値が付いた翌営業日から指数に算入。持ち株会社体制の移行に伴う上場廃止があった銘柄、海外のIPO企業に関しては計算から除外。

※TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※上記グラフは税金・手数料などは考慮していません。

※上記は過去のデータおよびシミュレーションであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

EPSに着目して成長企業を発掘しています

株価は1株あたりの利益(EPS)と株価収益率(PER)の積で求めることができます。当社では、1株あたりの利益(EPS)を企業の経営者や従業員の「情熱」「工夫」「頑張り」と捉えており、短期的な市況や人気など(PER)に左右されず、本質的な力を持っているか、長期的に成長する企業なのかを見極める際の重要な指標と考えています。1株あたりの利益(EPS)が高い企業は利益を上げる会社であり企業の成長性と株価は相関する、といえるのです。

$$\text{株価} = \text{1株あたり利益 (EPS)} \times \text{株価収益率 (PER)}$$

1株あたり利益

EPS

- 情熱
- 工夫
- 頑張り

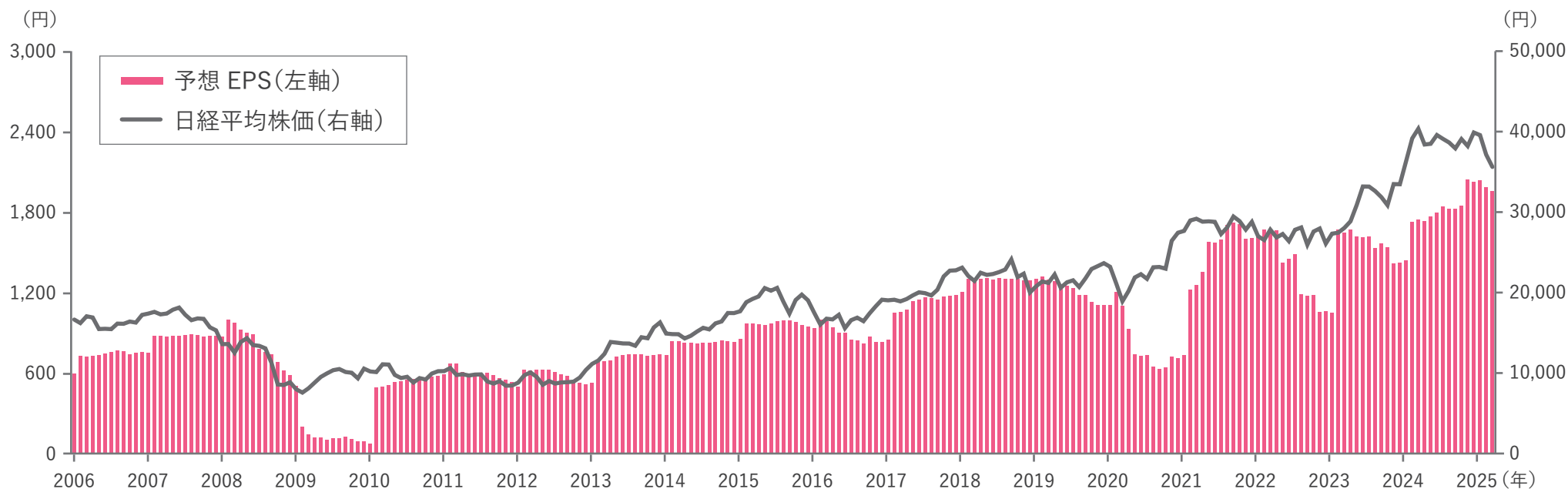
×

株価収益率

PER

- 人気
- 金利
- 為替
- 市況

■ 日経平均株価の予想EPSと株価の推移（2006年1月～2025年3月）

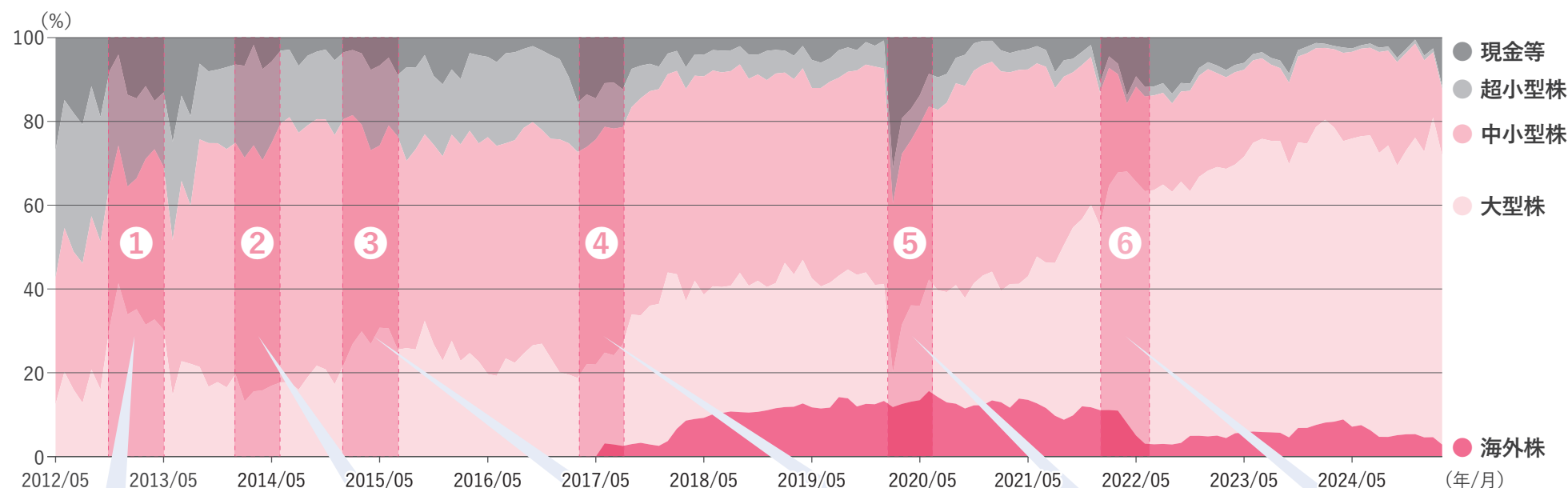


出所: Bloomberg掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

世界情勢や経済の変化に対応し、保有する株式の比率を柔軟に変化させることは、ひふみ投信マザーファンドの大きな特徴でもあります。業種や企業規模にとらわれることなく、臨機応変に組入銘柄を入れ替えて「守りながらふやす」運用を目指しています。

＜ひふみ投信マザーファンドの時価総額別構成比率の推移＞



① 第2次安倍内閣発足

円安・外需・大型株・株高へと相場動向が一変する中で、大型株の保有比率を高める。

② 世界の景気減速懸念が広がる

大型・中小型・超小型株といったカテゴリーを問わず、マクロ経済環境に左右されにくい独自要因で業績をあげられる銘柄の比率を上昇。

③ 大型株主導の株式相場

日本銀行や公的年金等の資金流入期待を背景に、日経平均株価上昇。大型・中小型・超小型株のバランスを意識したポートフォリオに。

④ 地政学的リスクの顕在化

北朝鮮問題などで顕在化し始めた地政学的リスクに備えて現金等の比率を上昇。

⑤ 新型コロナウイルス感染拡大

新型コロナウイルス感染拡大による不確実性リスクに備え、現金等の比率を上昇。

⑥ 物価上昇による米金融政策転換の影響

インフレによる相場状況の変化に対応するため、大型株の比率を上昇。

期間：2012年5月末～2025年3月末

ひふみ投信マザーファンドの月末時点の純資産総額を100%として計算。

時価総額300億円未満を超小型株、時価総額300億円～3,000億円未満を中小型株、時価総額3,000億円以上を大型株と定義。なお「海外株」には海外投資証券が含まれます。

特長2

足で稼いだ情報で成長企業を発掘します

未上場企業、上場企業ともに投資する銘柄を見つけるために、定量（企業業績の変化、株価水準、割安性など）と定性（経営の質、競争力、現場の活気など）の両面から、徹底的な調査・分析を行なっています。

電話取材やWebミーティングに加えて、現場で直接企業を取材することで、取材先の熱意や実際の雰囲気を感じたうえで、深みのあるディスカッションを行なっています。

ヒトの可能性に着目する 定性調査



未上場企業の着目ポイント

上場企業と比べ会社の規模が小さいことから、ニーズや変化に素早く対応でき、事業推進力のある経営者がリードし、上場後も成長が期待できるか、という観点などに注目しています。

上場企業の着目ポイント

企業調査では経営者や現場のスタッフとの対話を大切にしています。また、ニュースや新聞の情報だけでなく、日々の気付きを大切にしています。

成長企業を 発掘



企業業績の変化に着目する 定量調査



未上場企業の着目ポイント

主にレイターステージ企業に対して事業状況、業績に関するヒアリングを重視しています。また、経営陣にも将来のビジョンなどについてご説明していたでいます。

上場企業の着目ポイント

企業業績の変化、株価水準、割安性などに着目しています。なかでも1株あたりの利益（EPS）が高い企業は利益を上げる会社であり、企業の成長性と株価は相関すると考えています。

投資プロセス

■投資プロセス

【上場株式部分】
レオス・キャピタルワークス

【未上場株式部分】
レオス・キャピタルパートナーズ

銘柄発掘

企業との面談を重ね定量と定性の両面から徹底的な調査・分析

銘柄発掘にあたり未上場企業への豊富な投資実績を有するSBIインベストメント株式会社からのサポートを得る

調査

電話取材やWebミーティングに加えて、現場で直接企業を取材し、取材先の熱意や実際の雰囲気を感じ取る

事業計画など直接取材。上場株のアナリストも参加し未上場株式が上場後も継続的に成長が期待できるかを評価

選定

ポートフォリオ全体のバランスや個別企業の流動性などを考慮し選定

ポートフォリオ

■未上場株式部分を運用する「レオス・キャピタルパートナーズ」

レオス・キャピタルパートナーズはベンチャー企業への出資を行なう投資事業有限責任組合の運営・管理を行なっているレオス・キャピタルワークスの関連会社です。

社名 レオス・キャピタルパートナーズ株式会社

設立 2021年4月16日

資本金 1億円（2025年3月末現在）

投資信託委託業務・投資顧問業務

持株会社

SBIレオスひふみ
株式会社

レオス・キャピタルワークス
株式会社

ベンチャーキャピタル業務

レオス・キャピタルパートナーズ
株式会社

運用メンバー



藤野 英人



淡路 努



戸田 東宗

特長3

顔が見える運用

長期的なお付き合いにおいて、できる限りお客様に安心感を持っていただきたいと考えています。ひふみアカデミー（月次運用報告会）、月次運用レポート（月次運用報告書）、ひふみアニュアルミーティングなど、さまざまな情報発信で、大切なお金をお預かりしている運用メンバーの顔が見える機会を多くご用意しています。

運用メンバーの インタビューはこちら

レオス・キャピタルワークスの
Webサイトに遷移します



運用メンバー

代表取締役社長

ふじの ひでと
藤野 英人



代表取締役副社長
最高投資責任者(CIO)

ゆあさ みつひろ
湯浅 光裕

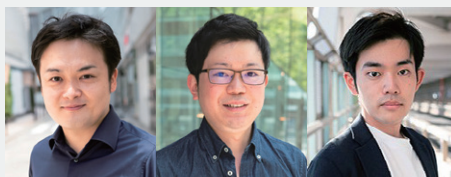


運用本部長



せいの まさなお
妹尾 昌直

国内株式戦略部



ないとう まこと
内藤 誠

おおしろ しんたろう
大城 真太郎

まつもと りょうが
松本 凌佳



いとう つばさ
伊藤 翼

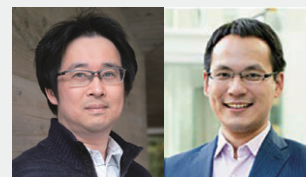
おおはら けんじ
大原 健司

みずせ きみのぶ
水瀬 公脩



なみき こうじ
並木 浩二

海外株式戦略部



たかはし りょう
高橋 亮

シュウ カン
周 歆



くぼ ともひこ
久保 智彦

小型株式戦略部



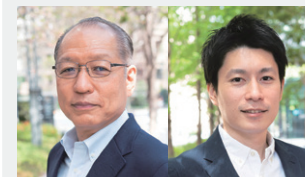
わたなべ しょうた
渡邊 庄太

債券戦略部



ふくむろ みつお
福室 光生

経済調査室



みやけ かずひろ
三宅 一弘

はしもと ゆういち
橋本 裕一

レオス・キャピタル パートナーズ



あわじ つとむ
淡路 努



とだ とうそう
戸田 東宗

※2025年3月末時点

お金や投資について幅広く配信中



YouTubeチャンネル

レオス・キャピタルワークス【投資信託「ひふみ」公式】

運用状況や市況、経済などをわかりやすく解説したり、当社のさまざまなセミナーなどを配信しているチャンネルです。



運用報告

毎月開催される月次運用報告会の模様を配信。



レオスの市況解説

毎営業日トレーディング部よりその日の市況解説を「YouTubeコミュニティ」から投稿。



三宅の目

隔週更新で経済調査室長の三宅が直近マーケットの振り返りと今後のマーケットの注目点を解説。

動画のご視聴はこちら



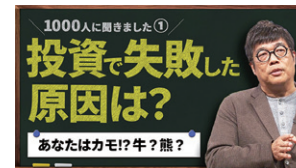
※これより先はYouTubeのサイトになります



YouTubeチャンネル

お金のまなびば!

お金に対する考え方や、投資、経済について、わかりやすく楽しく学んでいただけるチャンネルです。



「老後2,000万円問題」、コロナ禍での投資熱の高まりなど、今投資に対して多くの人たちの目が注がれています。しかし、海外と比べて日本はお金について勉強する機会が少なく、「投資」に対して良いイメージを抱いていない人が多いのも事実です。このチャンネルでは、お金や投資、経済に対する疑問・考え方について、さまざまなゲストをお迎えして対談したり、掘り下げて考える動画を配信しています。

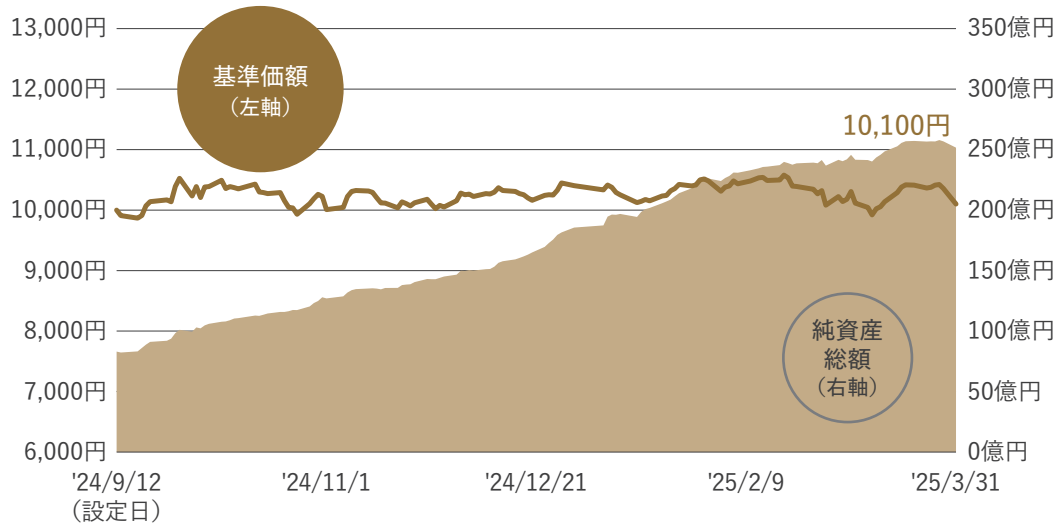
動画のご視聴はこちら



※これより先はYouTubeのサイトになります

ひふみクロスオーバーproの運用状況

■ 基準価額等の推移（日次）



■ 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみクロスオーバーpro	0.19%	-2.92%	-1.30%	-	-	1.00%

■ 投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	77.54%
ひふみクロスオーバーマザーファンド (うち、ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合)	20.12% (3.18%)
現金等	2.35%
合計	100.00%

資産配分比率などの状況

■ 資産配分比率

国内株式（上場）	80.64%
国内株式（未上場）	3.18%
海外株式	2.23%
現金等	13.96%
合計	100.00%

■ 市場別比率

プライム市場	66.22%
スタンダード市場	3.96%
グロース市場	10.47%
その他海外株	2.23%
未上場	3.18%
現金等	13.96%
合計	100.00%

期間:2024年9月12日～2025年3月末

※運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額(10,000円)を起点として算出しております。

※「現金等」は純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「投資信託財産の構成」の比率は純資産総額に対する比率です。

※「資産配分比率」「市場別比率」の各比率は、純資産総額に対する実質割合を表示しています。「市場別比率」において、海外株式は「その他海外株」として表示しています。

組み入れ上位10銘柄 (2025年3月末時点の組入比率1位～10位)

	銘柄名	銘柄コード	上場市場	業種	組入比率
	銘柄紹介				
1	ソニーグループ	6758	プライム市場	電気機器	2.97%
	PS5関連のハードウェア収益に加えて、PlayStation Plus(ゲームサブスクリプション)会員の増加を基盤とした周辺ビジネスの拡大や、音楽分野などの堅調な推移に期待。				
2	フジ・メディア・ホールディングス	4676	プライム市場	情報・通信業	2.88%
	放送事業から不動産まで手広く手掛ける業界大手のメディアコングロマリット。グループにニッポン放送やサンケイビルなどを抱える。				
3	技術承継機構	319A	グロース市場	金属製品	2.46%
	事業承継に悩む製造業の中小企業を連続的にM&Aし、バリューアップを行なうことで成長する連続買収企業。旺盛な事業承継ニーズを背景とした成長に期待。				
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	プライム市場	銀行業	2.05%
	日本3大金融グループの一角。銀行業務を中心に行なう総合金融サービスコングロマリット。かつての東京銀行のネットワークを継承したことにより国際業務に強みがあり、近年はアジアで積極的な買収を通じた事業拡大を行なっている。				
5	東京海上ホールディングス	8766	プライム市場	保険業	1.57%
	生命保険、損害保険、不動産、資産運用を備える大手。2029年度末までに政策保有株の保有を0にする目標を掲げる。成長と還元のバランスが優れている日本の保険のエクセレントカンパニー。				

	銘柄名	銘柄コード	上場市場	業種	組入比率
	銘柄紹介				
6	みずほフィナンシャルグループ	8411	プライム市場	銀行業	1.48%
	日本3大金融グループのひとつ。関連会社を通じ証券、信託、リース、運用など含む総合金融サービスを提供。				
7	yutori	5892	グロース市場	小売業	1.35%
	2018年設立の新興アパレル企業。Z世代の若者向けアパレルブランドを多数展開。海外展開を含む既存ブランドの成長、ミレニアル世代向けレディースブランドの展開強化、雑貨など別商材の展開も掲げる。				
8	川崎重工業	7012	プライム市場	輸送用機器	1.33%
	日本を代表する総合重機・バイクメーカー。航空機エンジン部品、電車車両、中小型のガスタービン、LNG船などで数々の実績がある。現在、社内構造改革を実施中。水素エネルギーのサプライチェーン整備で貢献できる範囲が数多くあり、脱炭素時代で再度成長路線へ移行を目論む。				
9	富士通	6702	プライム市場	電気機器	1.29%
	ITサービスやサーバー分野で国内トップクラスの歴史ある企業。中長期での持続的成長へ向けた事業ポートフォリオの改革が進行中。国内は国内企業のIT投資とDX(Digital Transformation)と呼ばれる投資の需要が継続している。				
10	オリックス	8591	プライム市場	その他金融業	1.28%
	国内のリース業トップだが、国内外問わず事業投資、不動産投資、金融業やプライベートエクイティファンド運用など、幅広い金融コングロマリット企業。海外では中国・アジア、欧米など地域分散し、成長路線をひた走る。				

※「組入比率」は純資産総額に対する実質割合を表示しております。なお、未上場株式は除きます。

※「業種」は東証33業種分類を用いて表示しています。

ひふみクロスオーバーマザーファンド運用状況

■ ひふみクロスオーバーマザーファンドの状況

純資産総額	50.61億円
組み入れ銘柄数	24銘柄

■ 資産配分比率

国内株式（上場）	70.98%
投資事業有限責任組合	15.81%
現金等	13.21%
合計	100.00%

■ 市場別比率

プライム市場	19.80%
スタンダード市場	8.80%
グロース市場	42.38%
未上場	15.81%
現金等	13.21%
合計	100.00%

■ 組み入れ上位5業種 比率

1	小売業	17.19%
2	情報・通信業	15.95%
3	金属製品	12.25%
4	サービス業	10.73%
5	陸運業	6.10%

■ 組み入れ上位5銘柄 比率（上場株）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	技術承継機構	319A	中小型	グロース市場	金属製品	12.25%
2	y u t o r i	5892	超小型	グロース市場	小売業	6.71%
3	東京地下鉄	9023	大型	プライム市場	陸運業	6.10%
4	インターメスティック	262A	中小型	プライム市場	小売業	5.03%
5	ガーデン	274A	超小型	スタンダード市場	小売業	4.76%

■ ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合の投資銘柄

投資開始年月	銘柄名	国	通貨
銘柄紹介			
2025年3月	ベター・プレイス	日本	日本円
「やさしい人がやさしいままでいられる世界へ」をビジョンに、確定給付型の企業年金制度である「はぐくみ企業年金」の導入・継続支援を行なう。金融機関や事業会社との提携が進み、事業が拡大。			
2024年12月	IDOM CaaS Technology	日本	日本円
「マイ・カーライフを、すべての人に。」というビジョンのもと、独自の与信システムを活用し、多くの方々に柔軟なカーライフを提供。自動車取引のデジタル化を推進しながら事業を拡大。			
2024年9月	五常・アンド・カンパニー	日本	日本円
「金融包摂を世界中に届ける」ことをミッションに、途上国において中小零細事業向けの小口金融サービス（マイクロファイナンス）を展開。マイクロファイナンス機関の設立・買収・経営支援を組み合わせながら規模を拡大。			

2025年3月末現在

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。各比率は、ひふみクロスオーバーマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。「組み入れ上位5業種比率」および「組み入れ上位5銘柄比率」は国内株式における上位を表示しています。また、業種は東証33業種分類を用いて表示しています。

※「組み入れ上位5銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満)

未上場企業の銘柄紹介

五常・アンド・カンパニー



■ 会社概要

五常・アンド・カンパニーは「金融包摂を世界中に届ける」ことをミッションに、途上国において中小零細事業向けの小口金融サービス(マイクロファイナンス)を展開する企業です。

■ 投資の視点

現地でマイクロファイナンス機関(MFI)を設立するのみならず、MFIの買収およびバリューアップも行ないながら、規模を拡大してきました。主要な顧客は農村部に暮らす女性です。彼女らの生活は収入の変動や突発的な支出のリスクに晒されていることが多いため、同社グループのMFIが提供するような低価格の金融サービスは厚生の改善に寄与します。同社の経営チームにはアジア・ヨーロッパ・アフリカなどでMFIの経営経験を有するメンバーが参画しています。また、卓越した業界の知見や専門性を持ち、ミッションに共感した人々が協働するグローバルなドリームチームになっています。



ファンド
マネージャー
松本 凌佳

IDOM CaaS Technology(イドムカーステクノロジー)



■ 会社概要

ICT(IDOM CaaS Technology)は「マイ・カーライフを、すべての人に。」というビジョンのもと、独自の与信システムを活用し、多くの方々に中古車流通事業を提供している会社です。

■ 投資の視点

日本の自動車ローンの通過率について調査すると、2022年の成人年齢の引き下げや携帯電話の早期保有、実質可処分所得の低下傾向、円安を起点としたインフレなどの要因により、欲しい車があっても従来型のローンを組めない人が増えやすい環境が継続していることがわかります。

投資を検討する中で、独自のデータを活用した与信審査を行なうICTのサービスによって、多くの方々が欲しい車に乗れるようになっている姿を目にしました。このような新しい自動車流通の形を実現しているICTの取り組みは、収益性と社会的な意義が両立されたものだと思います。

※組入銘柄は市場動向により変化します。※今後も当社が当該銘柄に投資することを保証するものではありません。
※当該銘柄への投資を推奨、勧誘するものではありません。※コメントについては作成日時点の情報になります。

yutori

■ 会社概要

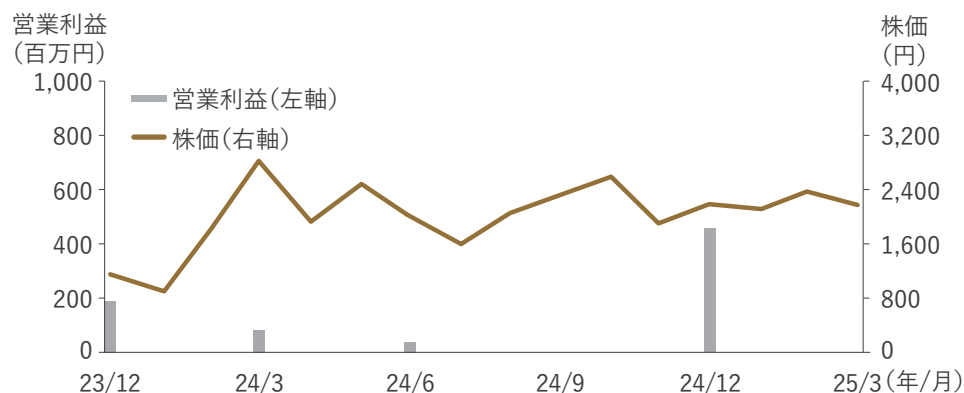
2018年設立の新興アパレル企業。Z世代の若者向けアパレルブランドを多数展開。海外展開を含む既存ブランドの成長、ミレニアル世代向けレディースブランドの展開強化、雑貨など別商材の展開も掲げています。



■ 投資の視点

カリスマ性のある経営陣が率いる新進気鋭のアパレル企業です。主力ブランド「9090」ではストリート定番アイテムを「ゆとり」流にリバイバルして展開しています。さらに、ガーリーやカジュアル志向のブランド、化粧品・雑貨などにまで買収も活用しながら商品ポートフォリオを拡大、SNSマーケティングを駆使しながら、Z世代を中心とした若年層へのトレンド発信基地として成長している企業です。

■ 株価と営業利益の推移



東京地下鉄

■ 会社概要

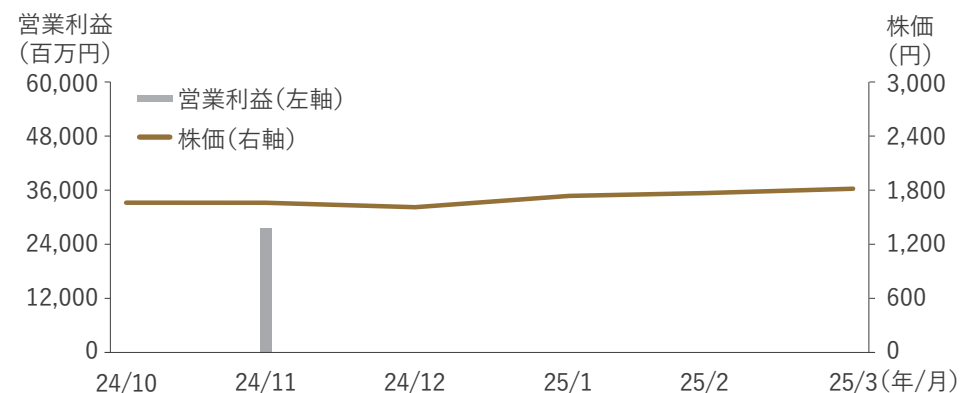
帝都高速度交通営団からの民営化により2004年に発足。都内を中心に9路線を運営する旅客鉄道事業、一等地のオフィスビルを多数保有する不動産事業などを抱える持株会社。グループ理念は「東京を走らせる力」。



■ 投資の視点

人類史の中でも未曾有の都市への人口集中に加え、インバウンド需要の活況という時代の潮流の中、東京の一等地における人流を支える都市インフラの中核を担っています。通勤・通学のみならず観光・商業ニーズにも対応し、駅ナカ開発や不動産事業でも高収益体制を構築。上場を機に、安定収益を背景とした株主還元強化や、次世代インフラへの成長投資に舵を切っており、中長期での企業価値向上が期待されます。

■ 株価と営業利益の推移



※Bloomberg 掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。株価は上場来～2025年3月末。株価は月末終値。営業利益は四半期ごとの値を各四半期末に表示。

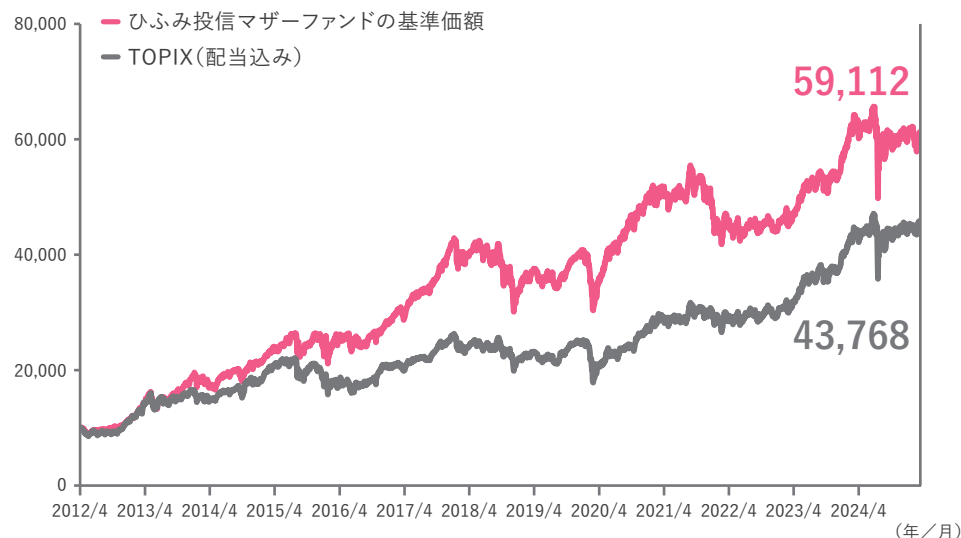
※組入銘柄は市場動向により変化します。※今後も当社が当該銘柄に投資することを保証するものではありません。

※当該銘柄への投資を推奨、勧誘するものではありません。※コメントについては作成日時時点の情報になります。※写真はイメージです。

投資対象ファンド

ひふみ投信マザーファンドの運用状況について

■ ひふみ投信マザーファンドの基準価額とTOPIX（配当込み）の推移（2025年3月末基準）



■ ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	8,238.04億円
組み入れ銘柄数	182銘柄

■ 組み入れ上位10業種 比率

1	電気機器	17.22%
2	情報・通信業	10.23%
3	銀行業	9.09%
4	サービス業	5.78%
5	機械	5.56%
6	建設業	5.30%
7	輸送用機器	4.49%
8	小売業	4.38%
9	保険業	3.67%
10	卸売業	2.78%

■ 資産配分比率

国内株式	85.59%
海外株式	2.87%
現金等	11.54%
合計	100.00%

■ 市場別比率

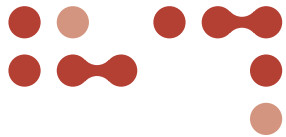
プライム市場	80.26%
スタンダード市場	2.82%
グロース市場	2.50%
その他海外株	2.87%
現金等	11.54%
合計	100.00%

■ 組み入れ上位5銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	3.83%
2	フジ・メディア・ホールディングス	4676	大型	プライム市場	情報・通信業	3.72%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	2.64%
4	東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	2.03%
5	みずほフィナンシャルグループ	8411	大型	プライム市場	銀行業	1.91%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。
 ※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。
 ※「組み入れ上位10業種 比率」は国内株式における上位業種を表示しています。「組み入れ上位10業種 比率」「組み入れ上位5銘柄 比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。
 ※「組み入れ上位5銘柄 比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満)

レオス・キャピタルワークス会社概要



経営理念

『資本市場を通じて社会に貢献します』

投資を通じてゆたかさの循環を生み出すとともに、ファイナンシャル・インクルージョンを通じて、金融サービスの恩恵を全ての人々が享受できる世の中を目指します。

社名・ロゴについて

「レオス」とは古代ギリシャ語で「流れ」という意味の言葉です。日本にある人財・資本・知恵・技術などたくさんの資産「キャピタル」の「流れ」をつくる工房「ワークス」でありたいという想いが込められています。私たちは見えない価値を見つめるという想い、流れを作り出すという志をロゴにこめました。ロゴは点字の「レオス」をデザインしたものです。目には見えないもの、触れてみないと分からないもの、そこに企業の大きな価値や未来が潜んでいると考えます。この目に見えない価値を結びつけ、新しい大きな流れを作り出したいという想いを表しています。

社 名 レオス・キャピタルワークス株式会社
Rheos Capital Works Inc.

設 立 2003年4月16日

本社所在地 東京都千代田区丸の内1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス(PCP)丸の内27F

資 本 金 3億22百万円（2025年3月末現在）

事 業 内 容 投資運用業
投資助言・代理業
第二種金融商品取引業

役 職 員 数 129名（2025年3月末現在）

運 用 資 産 1兆2,754億69百万円
運用助言含む（2025年3月末現在）

ご参考：SBIインベストメントのご紹介と主な投資実績

国内最大*の運用資産を持つベンチャーキャピタル

■ SBIインベストメントは、「新産業クリエイター」として21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーになるという経営理念の下、ベンチャーキャピタルファンドの運用・管理を行なう、国内屈指のベンチャーキャピタルです。

*出所：Preqin-JVCA国内VCベンチマーク調査(2023年5月実施)掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

社名 SBIインベストメント株式会社

設立 1996年6月7日

資本金 5,000万円

投資先社数
1,241 社

EXIT社数*
209 社

*株式売却(M&A)やIPOによって投資資本を回収、利益を得た社数

2024年3月31日時点

新規上場（IPO）投資実績

2021年
11 社

2022年
17 社

2023年
9 社

■ 主な投資実績

企業名	銘柄コード	上場市場	上場日	業務内容
(株)ispace	9348	東証グロース	2023年4月12日	自社にて開発中のランダーおよびローバーを用いて、①物資輸送サービス、②プロモーションサービス（パートナーシップ）③情報サービス等を提供
ANYCOLOR (株)	5032	東証グロース	2022年6月8日	Vtuberの募集、作成、企画、プロデュース
ビジョナル(株)	4194	東証マザーズ	2021年4月22日	プロフェッショナル人材に特化した会員制転職プラットフォーム「ビズリーチ」などの運営
ウェルスナビ(株)	7342	東証マザーズ	2020年12月22日	リスク管理アルゴリズムに基づく資産運用を行なうロボアドバイザー「WealthNavi」の提供
(株)ココペリ	4167	東証マザーズ	2020年12月18日	SaaS型の中小企業向け経営支援プラットフォーム「BigAdvance」および、AIモジュール「FAI」の開発・提供
(株)グッドパッチ	7351	東証マザーズ	2020年6月30日	Web・スマートフォンサービス等のUI/UXデザイン支援サービスの提供
AI inside(株)	4488	東証マザーズ	2019年12月25日	AI基盤手書きOCRソフトウェアおよびOCRでデジタル化された文書データの処理に携わるソフトウェアの提供
フリー(株)	4478	東証マザーズ	2019年12月17日	クラウド型会計ソフト「free」の提供
BASE (株)	4477	東証マザーズ	2019年10月25日	Eコマースプラットフォーム「BASE」の運営、およびWebサービスやネットショップにクレジットカード決済を簡単に導入できるオンライン決済サービス「PAY.JP」の展開
(株)レノバ	9519	マザーズ	2017年2月23日	再生可能エネルギー発電所の新規開発・運営管理

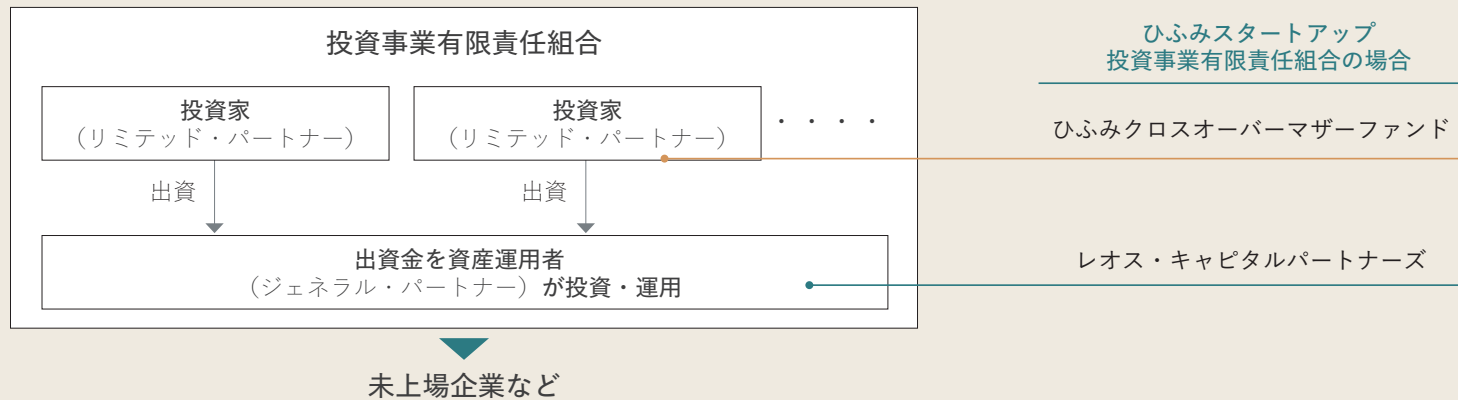
出所：SBIインベストメントの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成。

未上場株式に関するよくあるご質問

～投資事業有限責任組合（LPS）とは何ですか～

未上場企業が発行する有価証券への投資を目的とした「組合」です。

投資事業有限責任組合（LPS）は、業務を執行する資産運用者（ジェネラル・パートナー）と投資家（リミテッド・パートナー）が出資を行ない、その出資金を基にして共同で投資を営む組合です。



～未上場株式の価格はどのタイミングで評価しているのですか～

四半期に一度、公正価値*評価に基づき未上場株式の時価評価を行ないます。

未上場株式は証券取引所に上場していないため、取引所における日々の価格形成がされることはありません。当ファンドでは、四半期に一度、公正価値*評価に基づき未上場株式の時価評価を行ないます。さらに、四半期評価の間に各銘柄においてイベントアクション（資金調達、M&Aに関する合意、銀行取引停止等）が生じた場合、時価評価を随時行ない、基準価額へ反映させます。また、評価に関しては、四半期に一度、外部機関からの監査をうけます。

*公正価値とは測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却するために受け取るであろう価格または負債を移転するために支払うであろう価格。

投資リスクについて

基準価額の変動要因

- ・「ひふみクロスオーバーpro」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・投資信託は預金等とは異なります。

主な投資リスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、あるいは不利な条件で取引を強いられ、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は上記に限定されるものではありません。

未上場株式等への投資に関する主なリスク

- 当ファンドは、投資事業有限責任組合を通じて実質的に未上場株式等に投資を行なうため、他の金融商品を組み入れた投資信託と比較して、加えて、主に以下のリスクがあります。これらのリスクにより、基準価額が大きく下落し、損失を被るリスクがあります。
- ・ 当ファンドが実質的に投資する未上場株式等は、各銘柄の価格が各企業の個別要因やイベント（デフォルト、上場、M&A等）によって大きく変動し、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があるため、評価額が大きく変動し、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
 - ・ 当ファンドが実質的に投資する未上場株式等は流動性が著しく乏しいため、売却時に不利な価格での取引をせざるを得なくなるなど、流動性リスクおよび各種リスクの影響が大きくなる可能性があります。
 - ・ 未上場株式等の評価額については、その時点で入手できる情報に基づいた公正価値の見積りであり、日々の投資信託の基準価額算出においては、影響を受ける可能性のある重要な事象を完全かつ正確に反映することが困難となります。

※未上場株式等への投資に関するリスクは上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ・「ひふみクロスオーバーpro」のお取引において、金融商品取引法第37条の6に規定された「書面による契約の解除」（クーリング・オフ）の適用はありません。
- ・ ファンドの流動性リスクに関する事項：一時に多額の解約があり資金を手当てするために保有資産を大量に売却しなければならない場合や、取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額が低下し損失を被る可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、「ひふみクロスオーバーpro」の基準価額に影響を及ぼす場合があります。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お申込みメモ

信 託 期 間	無期限(2024年9月12日設定) ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。
決 算 日	毎年7月25日(休業日の場合には、翌営業日) ※第1期決算日は、2025年7月25日とします。
収 益 分 配	年1回の毎決算時に、原則として、次の方針に基づき分配を行ないます。分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合には、収益分配金は税引き後に無手数料で再投資されます。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当り)
購 入 ・ 換 金 単 位	販売会社が定める単位となります。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当り)
換 金 代 金	換金申込受付日から起算して5営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
換 金 制 限	「ひふみクロスオーバーpro」の残高、市場の流動性の状況等によっては、運用上の支障をきたさないようにするため、委託会社の判断により大口の換金の金額に制限を設ける場合や換金のご請求の受付時間に制限を設ける場合があります。
購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 の 中 止 お よ び 取 消	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情(流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等)がある場合には、委託会社は購入、換金の申込みの受付けを中止すること、およびすでに受付けた購入、換金の申込みの受付けを取消すことがあります。
繰 上 償 還	信託契約の一部解約により受益権の口数が30億口を下回った場合またはこの信託契約を解約することがお客様(受益者)のために有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、この信託契約を解約し、信託を終了させる場合があります。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。「ひふみクロスオーバーpro」は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※上記は、2025年3月末現在のものです。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。
購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 不 可 日	ニューヨーク証券取引所またはナスダック証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申 込 締 切 時 間	購入・換金ともに、原則として毎営業日の午後3時30分までに受け付けたものを当日のお申込みとします。ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用

お客様に直接的にご負担いただく費用

購 入 時 手 数 料	申込金額に対する手数料率は 3.30%(税抜3.00%) を上限として、販売会社が定める料率とします。 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社にお支払いいただきます。「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。
信 託 財 産 留 保 額	ありません。

お客様に信託財産から間接的にご負担いただく費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.650%(税抜年率1.500%) を乗じて得た額。											
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみクロスオーバーpro」の信託財産から支払われます。											
	■ 運用管理費用の配分											
	<table><tr><th>支払先</th><th>配分</th><th>役務の内容</th></tr><tr><td>委託会社</td><td>年率0.825% (税抜年率0.750%)</td><td>ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価</td></tr><tr><td>販売会社</td><td>年率0.770% (税抜年率0.700%)</td><td>運用報告書等各種書類の提供等、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価</td></tr><tr><td>受託会社</td><td>年率0.055% (税抜年率0.050%)</td><td>運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行の対価</td></tr></table>	支払先	配分	役務の内容	委託会社	年率0.825% (税抜年率0.750%)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価	販売会社	年率0.770% (税抜年率0.700%)	運用報告書等各種書類の提供等、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価	受託会社	年率0.055% (税抜年率0.050%)
支払先	配分	役務の内容										
委託会社	年率0.825% (税抜年率0.750%)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価										
販売会社	年率0.770% (税抜年率0.700%)	運用報告書等各種書類の提供等、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価										
受託会社	年率0.055% (税抜年率0.050%)	運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行の対価										
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税等)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用(監査費用)およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。											
	監査費用は日々計算されて毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。 これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。											

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



● RHEOS CAPITAL WORKS